

四谷大塚 最難関問題集の取り組み方ガイド

この教材は「全部やるべき／やらないべき」と単純に分けられるものではありません。
条件がそろえば、大問1題分に匹敵する非常に価値の高い演習になります。

■ 全部やると効果が高いケース

- ・ 解答用紙を使い、時間を測って演習できている
- ・ 演習→解説→振り返りまで1セットで完結できる
- ・ 記述問題で根拠を説明できる

→ この場合、1回分が入試大問1題分の力になります。

■ 量を絞った方がよいケース

- ・ 時間が大幅にオーバーする
- ・ 解説を読んでも理解が浅い
- ・ 処理的に答えを書いてしまう

→ 記述・難問のみ厳選し、1問を深く振り返りましょう。

■ 家庭での関わり方

親が解き方を教える必要はありません。

「どの段落を使った？」「なぜその答えになる？」「他はなぜ違う？」

この3点を確認するだけで、学習効果が大きく変わります。